

第5回中部ジオ・テク塾開催報告

主催：中部土質試験協同組合
後援：(社)地盤工学会中部支部
中部地質調査業協会

(社)地盤工学会 中部支部および中部地質調査業協会のご支援を頂き、第5回 中部ジオ・テク塾 を開催しました。このジオ・テク塾は、東海地域にて活躍する技術者が把握しておくべき地盤の知識を、地盤工学の先輩により伝授していただくとともに、自由に意見交換を行うことができるような場の提供として塾を開催継続しております。第5回は、(前)(有)地盤エンジニアリング 代表取締役 鈴木一正 氏 による「**地盤調査の陥穽 (カンセイ)**」と称して、地盤調査に含まれる問題点と実際に経験した設計・施工の失敗例と多くの海外プロジェクトに携われた中から、シンガポールのチャンギ新国際空港の地盤改良およびバンコク外郭東環状線高速道路の施工管理業務にて得られた知見を披露していただき、技術の伝授を行った。

(開催概要)

1. 開催日時：平成22年6月23日(水) 14:00~17:00
2. 開催場所：ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 会議室1208号室
3. 講師略歴：基礎地盤コンサルタンツ(株)技術センター土質指導室室長、(株)東京ソイルリサーチ 西日本支社長 を勤務された後、独立し現在に至る (道路土工-軟弱地盤対策工指針-の編集委員、海外業務経験多数)
4. 参加者：53名(当日は45名募集でしたが、多くの参加があり53名の参加を得て満席であった)

(具体的な話題概要)

1. バンコク外郭環状道路(63km)：施工管理を請け負った業務でしたが、タイ国で初めて軟弱地盤改良を適用した高速道路盛土のために原設計に重大な不備が見つかり、施工管理を始める前に設計の見直し修正を実施。地盤調査技術者に何が必要かを紹介された。なお、本業務では、我が国であまり事例のないベアリングユニットを用いられた沈下提言対策工法に関して、より高い品質の道路構築のために奔走されたものの、各種の抵抗に遭遇されて、この問題に対しては最終的に役務を除外されたことが、今でも心残りになっていることの紹介が印象的でした(編集者は、鈴木氏とバンコクにて直接業務を実施しましたので、懐かしく拝聴いたしました)。
2. シンガポールのチャンギ新国際空港の地盤改良：シンガポールにおける初めての地盤改良工事(サンドドレーン)に携わられた際の苦心談。多くの人的ネットワークを駆使されて、困難な業務を完遂された事例報告。
3. 地盤調査の陥穽という話題に関しては、ボーリング掘削作業、標準貫入試験、室内土質試験等に関して、豊富な体験をご紹介いただきました。なかでも、冬の北陸でのフォイルサンプラー試料が、ストーブに暖房よる現場で乾燥して、高い強度が得られたこと等の失敗例を紹介され、印象深かった。

編集者は、関越道の調査において、新潟県長岡市で、フォイルサンプリングを自分で実施(1975年)しましたが、非常に良好なサンプリングができたことを今でも記憶しております。



(鈴木一正氏の当日のご講演状況)

なお、鈴木氏のご講演後、テキストを再編集されました。ご希望の方には差上げることが可能です。